

経済動向調査のまとめ

令和5年度 第1四半期 (4月～6月)

1. 兵庫県の景気動向

(令和5年6月9日発表 産業労働部地域経済課による兵庫県の経済・雇用情勢を集約)

① 景況

現状 (良い-悪い) 構成比 (%ポイント)

区分	R4.6	R4.9	R4.12	R5.3	R5.6(予測)
全産業	▲ 3	3	2	5	2
大企業	6	8	10	6	6
中堅企業	▲ 1	10	3	11	9
中小企業	▲ 8	▲ 2	▲ 3	2	▲ 4
うち製造業	▲ 5	▲ 1	▲ 3	▲ 3	▲ 4
うち非製造業	0	10	7	17	9

出所：県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

企業の業況判断は、足もと改善し、先行きは悪化すると見込んでいる。

② 需要

項目	R3年度	R4年度	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4
商業販売額:億円	18,016	18,529	1,880	1,506	1,375	1,593	1,517
(前年度比増減率%)	(+ 0.3)	(+ 2.8)	(+ 4.8)	(+ 1.2)	(+ 2.9)	(+ 4.0)	(+ 3.7)
乗用車販売台数:台	141,627	144,966	11,679	13,417	14,454	19,021	11,868
(前年度比増減率%)	(▲ 7.3)	(+ 2.4)	(▲ 1.1)	(+ 9.7)	(+ 23.2)	(+ 13.2)	(+ 21.7)
新設住宅着工戸数:戸	29,844	31,911	2,651	2,775	2,081	2,635	2,685
(前年度比増減率%)	(▲ 2.3)	(+ 6.9)	(+ 2.2)	(+ 59.2)	(▲ 10.3)	(+ 2.1)	(▲ 18.6)
神戸港輸出額:億円	61,512	73,698	6,891	4,733	5,979	7,035	6,373
(前年度比増減率%)	(+ 23.6)	(+ 19.8)	(+ 19.2)	(+ 11.4)	(+ 16.5)	(+ 7.5)	(+ 14.1)

出所：商業動態統計（経済産業省）、新車登録速報（日本自動車販売協会連合会兵庫県支部）、軽自動車新車届出状況（兵庫県軽自動車協会）、住宅着工統計（国土交通省）、神戸港貿易概況（神戸税関）（商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース）

項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込)	R5年度(計画)
設備投資額(前年度比増減率%)	▲ 1.2	2.4	▲ 13.4	22.5	▲ 7.1
(H27年度比:H27=100)	(113.9)	(116.6)	(101.0)	(123.7)	(114.9)

出所：県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

個人消費は、回復に向けた動きが広がっている。輸出は、増加している。

設備投資は、減少計画にあるものの堅調である。

③ 生産

項目	R3年度	R4年度	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3
鉱工業指数:H27=100 (前月比増減率%)	93.9 (+ 0.9)	96.5 (+ 2.8)	96.9 (▲ 3.1)	95.2 (▲ 1.8)	102.5 (+ 7.7)	95.9 (▲ 6.4)	90.5 (▲ 5.6)

注) 月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較)

出所：兵庫県鉱工業指数（県統計課）

生産は、一部に弱い動きが見られる。

④ 雇用

項目	R3年度	R4年度	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4
有効求人倍率(季節調整値):倍	0.94	1.03	1.08	1.06	1.02	1.01	1.03
新規求人数(原数値):人 (前年度比増減率%)	28,235 (+ 5.3)	29,795 (+ 5.5)	28,849 (+ 1.6)	31,398 ▲ 3.1	28,965 (+ 1.7)	29,674 (▲ 3.2)	28,822 (▲ 4.6)
雇用者所得計:億円 (前年度比増減率%)	5,340 (▲ 1.4)	5,510 (+ 3.2)	9,324 (+ 4.4)	4,741 (+ 0.5)	4,639 (+ 0.7)	4,964 (+ 2.9)	- (-)

注) 有効求人倍率の年度値は原数値、雇用者所得計の年度値は年平均 出所：一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

有効求人倍率は、前月を上回った。雇用者所得は、弱めの動きとなっている。

⑤ 金融

項目	R3年度	R4年度	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5
企業倒産件数:件 (前年度比増減率%)	329 (▲16.9)	368 (+11.9)	35 (+45.8)	32 (+68.4)	48 (+118.2)	34 (+21.4)	45 (+136.8)
企業倒産負債総額:億円 (前年度比増減率%)	294 (▲ 50.1)	649 (+120.5)	12 (▲54.9)	138 (+2349.8)	42 (+96.3)	11 (▲79.0)	640 (+401.1)

出所：兵庫県企業倒産状況（東京商工リサーチ神戸支店）

倒産件数は、前年を上回った。

～県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント～

管内の景気は、持ち直している。

個人消費は、回復に向けた動きが広がっている。設備投資は、増加している。住宅投資は、概ね横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、弱めの動きとなっている。輸出は、増勢が鈍化している。

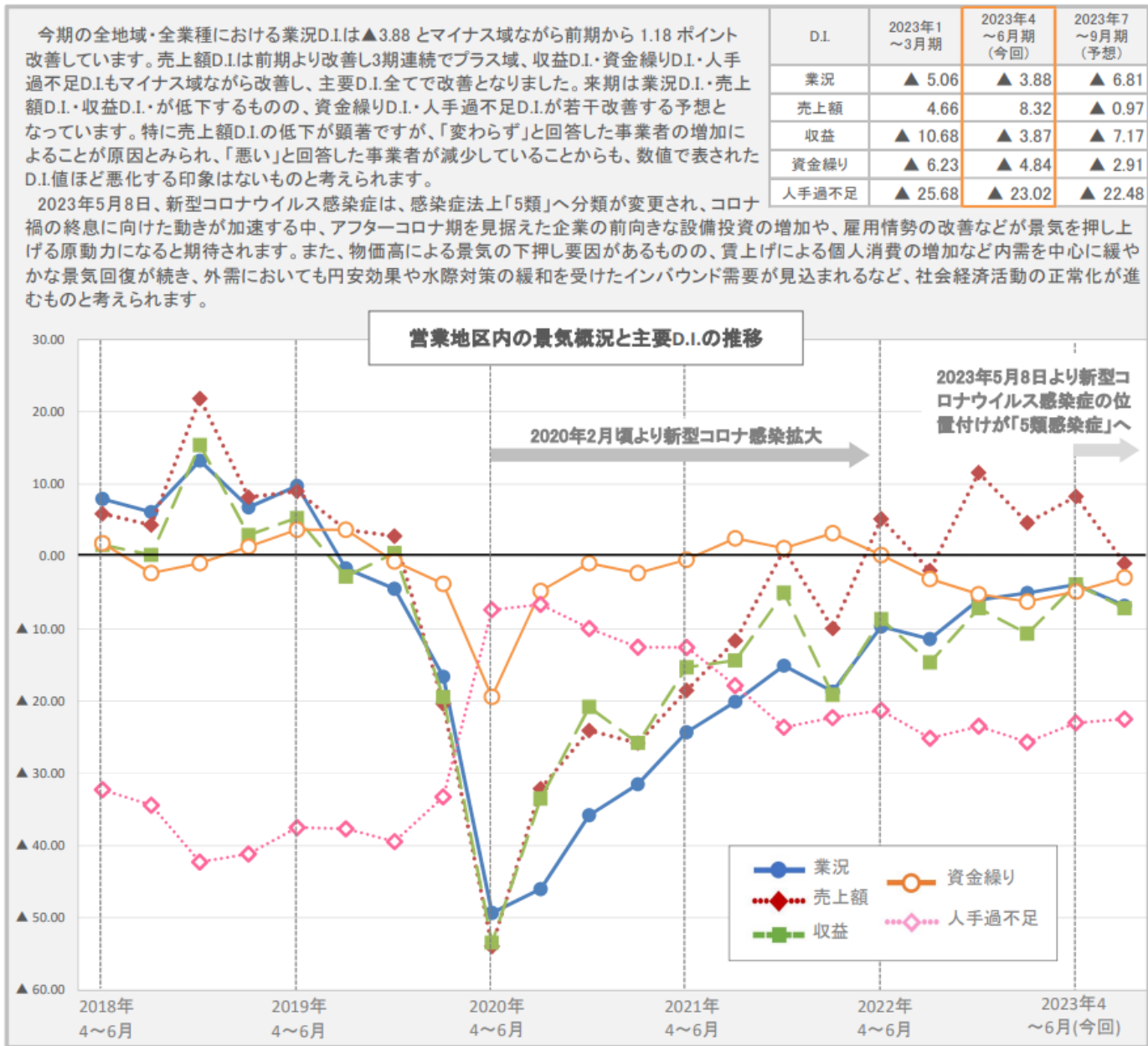
こうした中、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

(令和5年6月7日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

1. 地域における景気動向

(但陽信用金庫 景気動向調査レポートより 2023年 4~6月期)

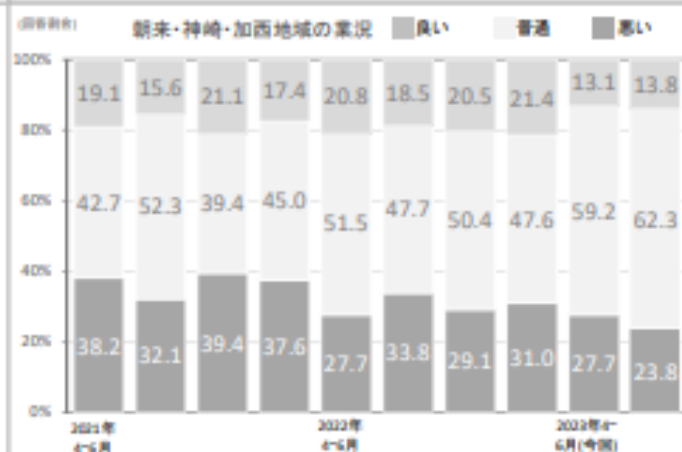
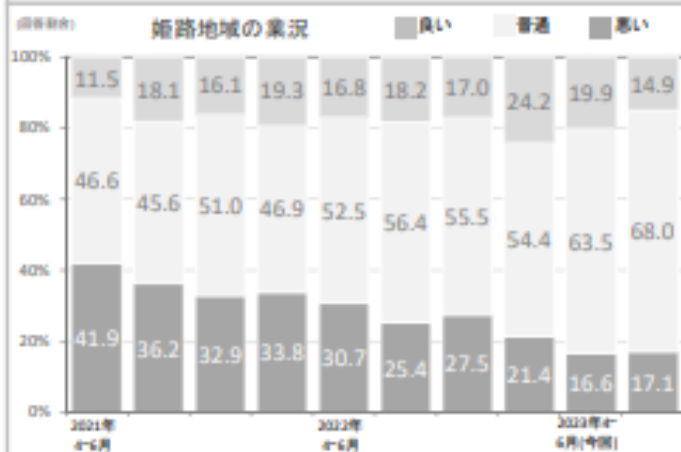
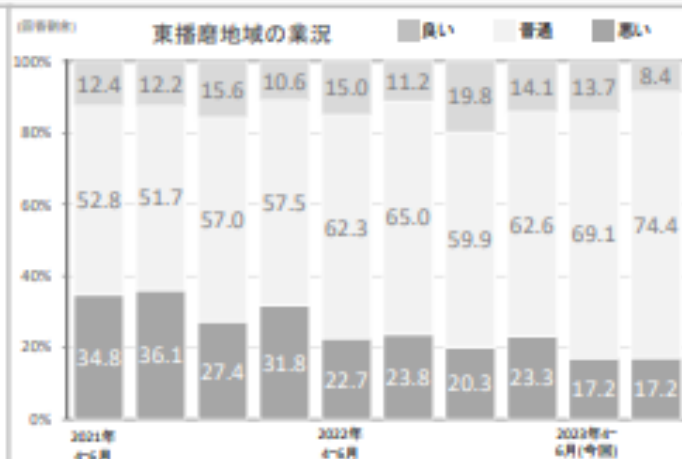
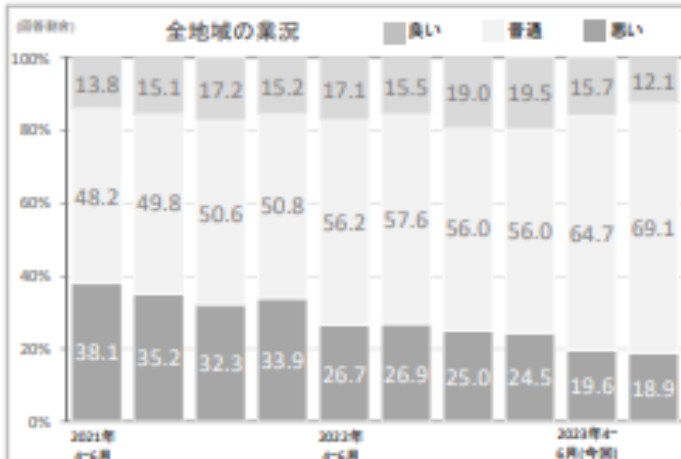
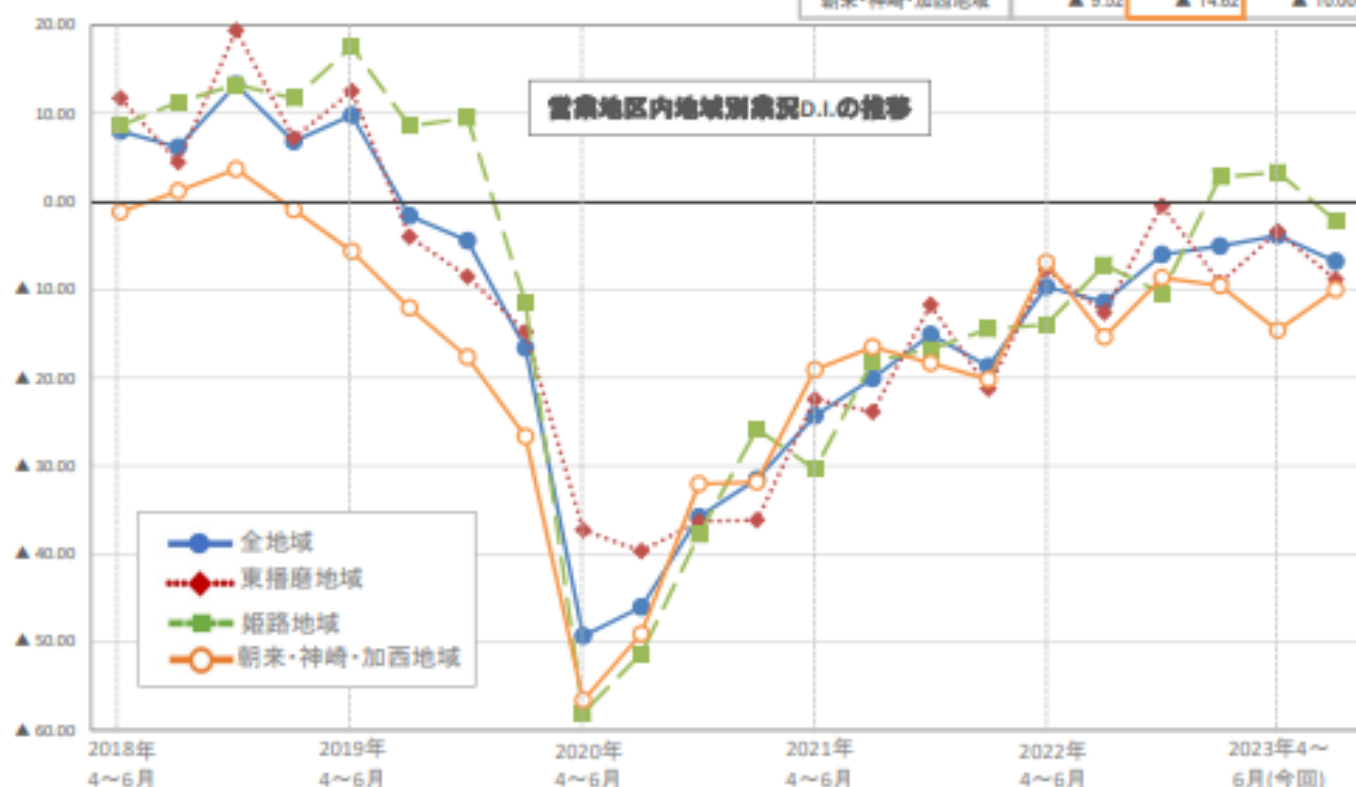
※ D.I. (Diffusion Index)とは 「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方角を判断する指数です。



(回答企業 518社) (回答率 99.4%)

今期の地域別業況は、東播磨地域が▲ 3.43と5.79ポイントの改善、姫路地域が3.31と0.56ポイントの改善、朝来・神崎・加西地域は▲ 14.62と5.10ポイント低下しています。来期は朝来・神崎・加西地域で若干改善するものの、東播磨地域、姫路地域で低下する厳しい予想となっています。

地域	2023年1～3月期	2023年4～6月期(今回)	2023年7～9月期(予想)
全地域	▲ 5.06	▲ 3.88	▲ 6.81
東播磨地域	▲ 9.22	▲ 3.43	▲ 8.87
姫路地域	2.75	3.31	▲ 2.21
朝来・神崎・加西地域	▲ 9.52	▲ 14.62	▲ 10.00



業種別では、サービス業・小売業が低下したものの、製造業がマイナス域ながら前期から若干の改善、不動産業・卸売業・建設業もプラスに改善しています。来期は、サービス業が若干改善するものの、不動産業が3.45ポイント低下となり、製造業・小売業・卸売業・建設業についても軒並みマイナス域に低下する厳しい予想となっています。

業種	2023年1～3月期	2023年4～6月期(今回)	2023年7～9月期(予想)
製造業	▲ 2.19	▲ 1.07	▲ 6.42
サービス業	▲ 12.08	▲ 13.92	▲ 8.86
不動産業	0.00	8.90	3.45
小売業	▲ 15.38	▲ 16.18	▲ 17.05
卸売業	0.00	2.06	▲ 4.17
建設業	0.00	0.96	▲ 2.91

営業地区内業種別業況D.I.の推移

